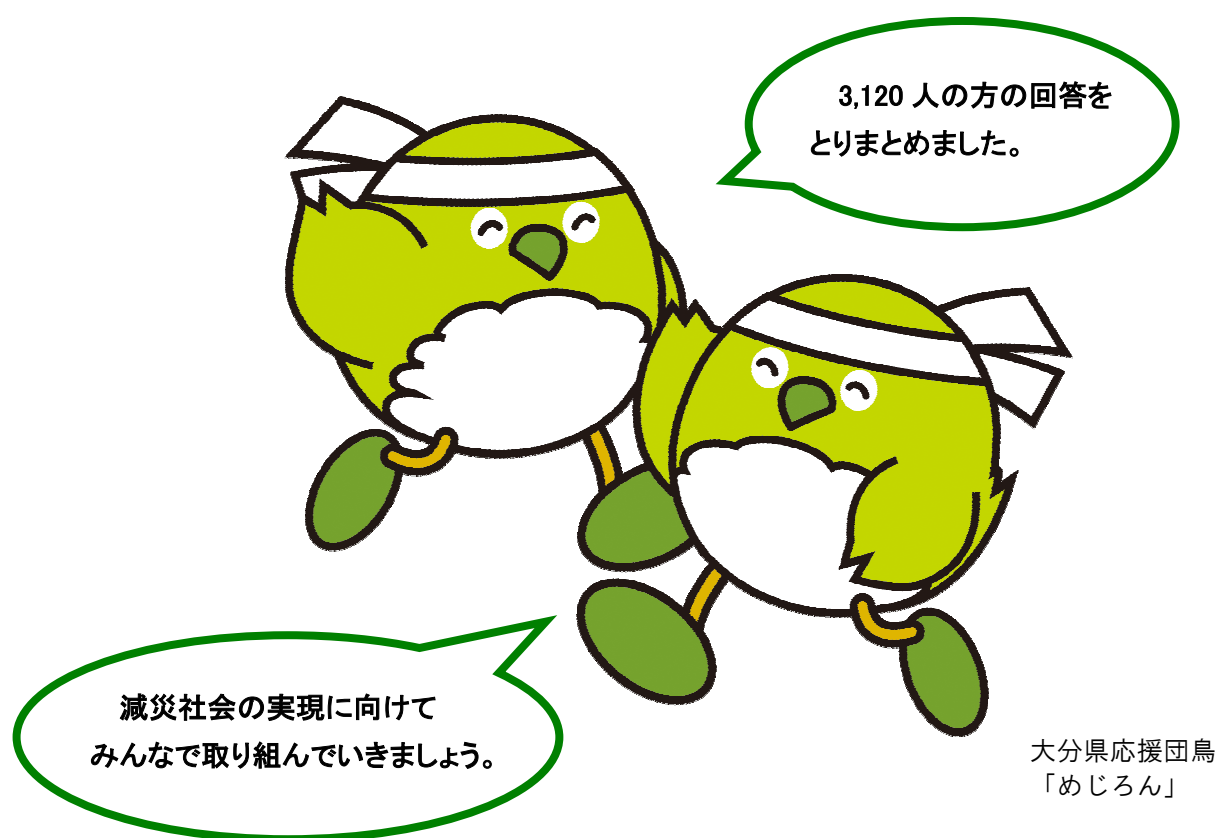


平成 21 年度

# 「第 1 回地震減災に関する県民意識調査」 結果の概要



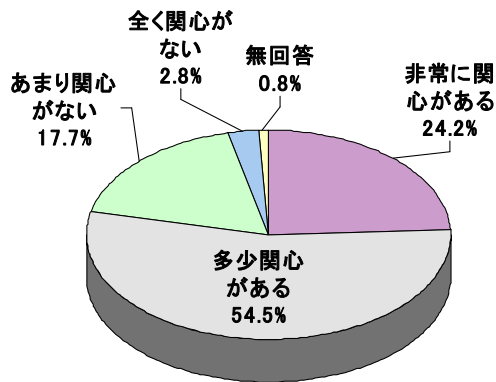
## 【調査の概要】

- 調査地域 大分県全域
- 調査対象者 20 歳以上の県民 5,000 人
- 調査時期 平成 21 年 12 月～平成 22 年 1 月
- 調査方法 郵送法
- 回答率（数） 62.4%（3,120 人）
- 調査委託・実施機関 （株）九州産業研究所

# 1. 東南海・南海地震 等についてです。



Q あなたは、南海トラフを震源域とする東南海・南海地震に関心がありますか？



東南海・南海地震への関心については 24.2%の方が「非常に関心がある」と回答しています。「多少関心がある」の 54.5%と合わせると 8割近くの方が関心を持っています。

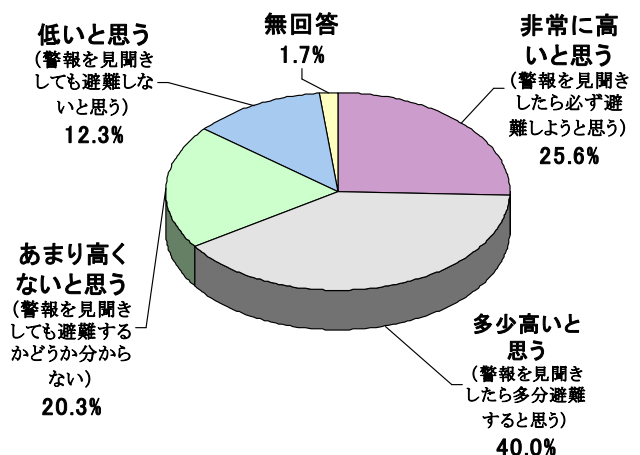
## ※東南海・南海地震とは

遠州灘西部から土佐湾までの南海トラフのプレート境界面を震源域とし、今世紀前半にも発生が懸念されている地震です。

### 日本付近のプレートの動き



Q 東南海・南海地震が発生した場合、大分県では津波による被害が最も大きいと考えられています。津波警報が発表されたときには、一刻も早く高台に避難することが重要ですが、あなたの避難意識はどれにあたりますか？



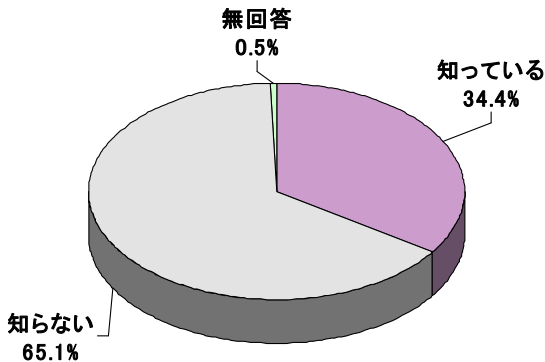
津波避難意識の違いによって被害が大きくなってきます。

※ 大分県では地震被害想定調査結果を公表しています。

海辺で地震を感じたら揺れが小さくてもすぐに高台に避難をしてください。



Q 国の「地震調査研究推進本部」から、各地震の発生確率が毎年発表されています。ちなみに、南海地震の発生確率は、今後30年以内は50%~60%、50年以内は80%~90%と非常に高くなっています。ご存じですか？



今後の南海地震の発生確率については「知っている」と回答したのは34.4%の方でした。

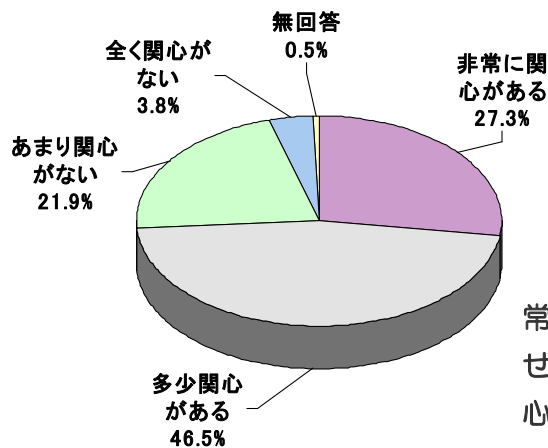
※ 南海地震の今後30年以内の発生確率は、60%程度にアップ。(H22.1.1時点)

※別府一万年山(はねやま)断層帯とは別府湾から県西部にかけて活断層が多く分布しており、これらの活断層群は、「別府一万年山断層帯」と呼ばれています。

この地域には、鶴見岳・伽藍岳・由布岳・九重山などの火山も分布しています。

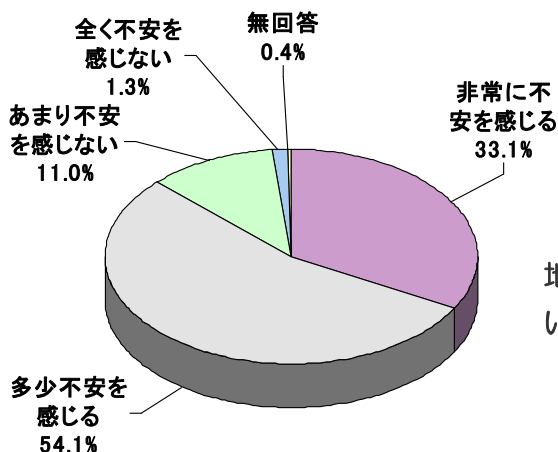


Q 大分県には、国の主要断層帯のひとつである「別府一万年山(はねやま)断層帯(別府湾~県西部)」があります。この断層帯を震源とする直下型地震に関心がありますか？



「多少関心がある」「非常に関心がある」を合わせると約7割強の方が関心を持っています。

Q あなたは、大地震が発生するかもしれないという不安を感じることがありますか？



約9割近くの方が大地震への不安を感じています。

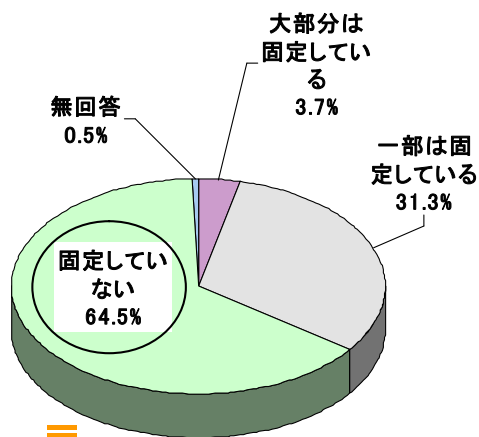
地震への関心、不安はあるけど、地震についての情報が不足しているんだね。





## 2. 住まいの地震対策 についてです。

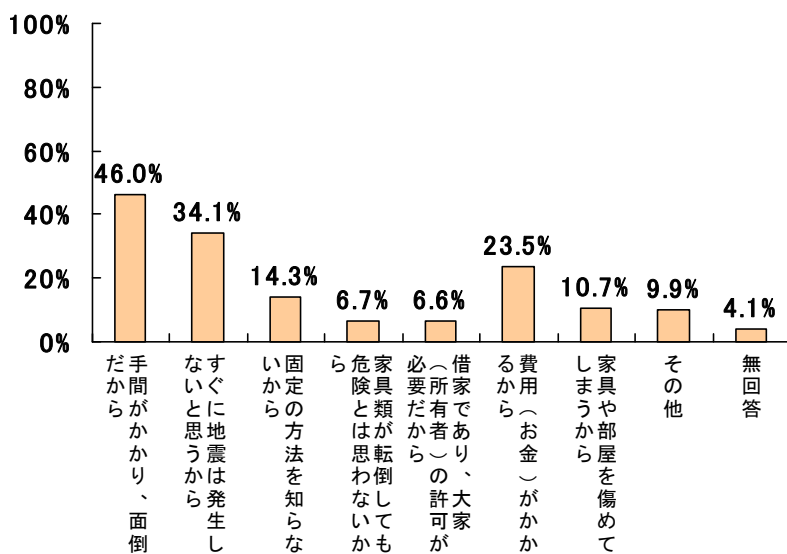
Q ご家庭では、地震に備えてタンス、本棚、食器棚などの家具類が転倒しないよう固定（造り付けの固定を含む。）を行っていますか？



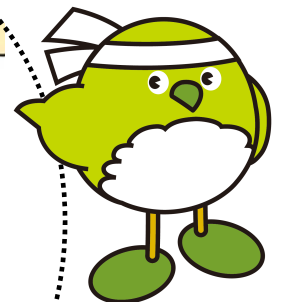
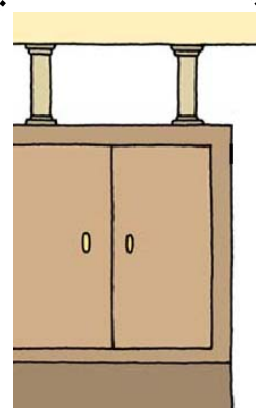
「大部分は固定している」という方が3.7%、「一部は固定している」が31.3%、合わせて35%でした。

固定していない理由は、「手間がかかり、面倒だから」という方が46.0%、「すぐに地震が発生しないと思うから」という方が34.1%でした。

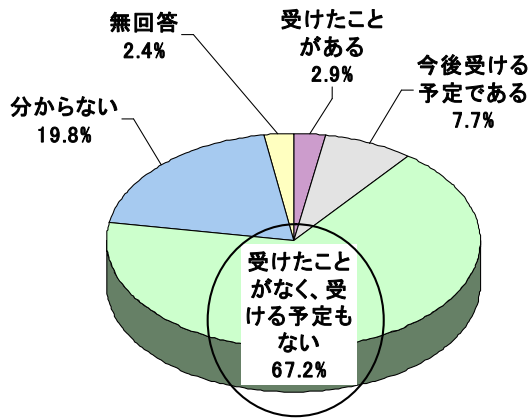
固定していない理由



家具類の固定をお願いします。

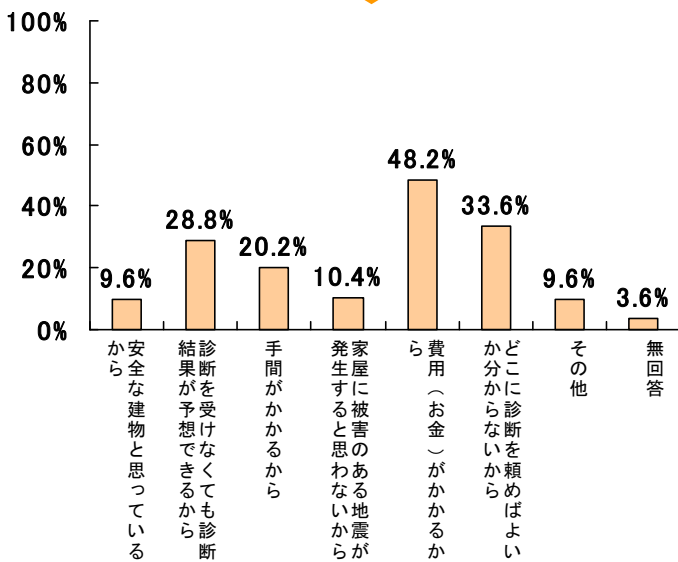


Q ご自宅（借家を含む）は、耐震診断を受けたことがありますか？  
（構造が木造で、建築年が昭和56年5月以前であると回答された方 1,244人）

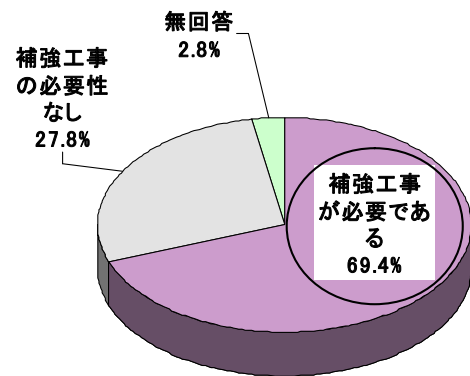


67.2%の方が耐震診断を「受けたことがなく、受ける予定もない」と回答しています。理由としては「費用（お金）がかかるから」がトップでした。なお、耐震診断を受けたことがある方は2.9%でした。

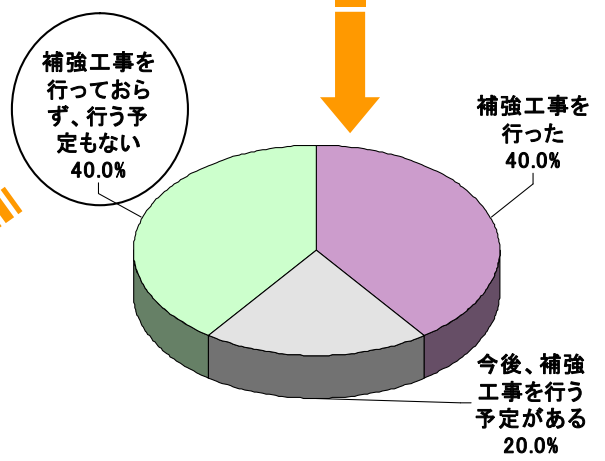
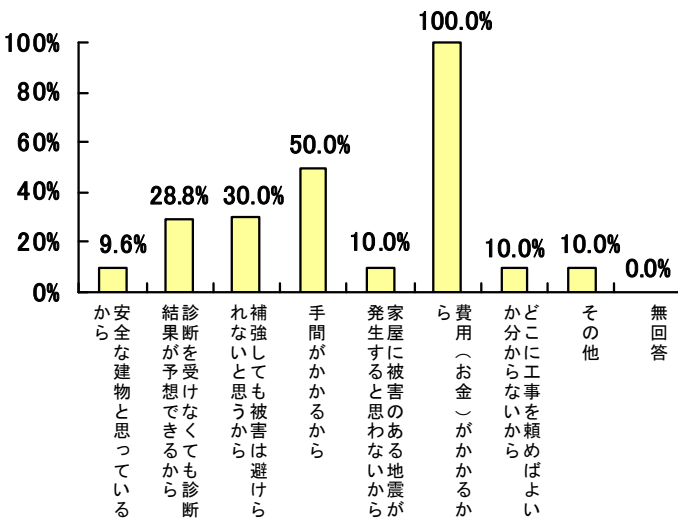
耐震診断を受けない理由



耐震診断を受けたことがある方（36人）で、診断結果とそれ後の対応は？



補強工事を行わない理由



耐震診断、補強工事については「費用」の面が一番の課題となっているんだね。

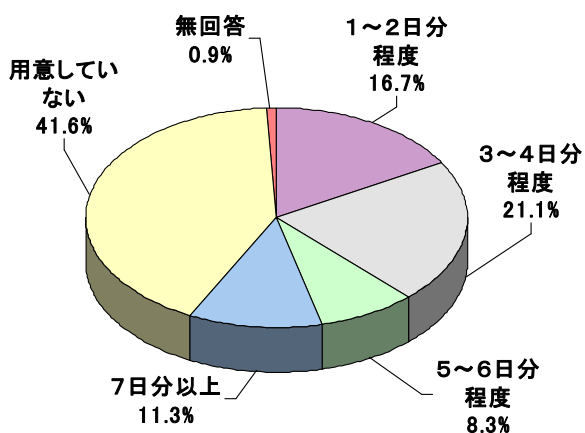


※ 大分県と市町村では、耐震診断や補強工事費用への助成を行っています。



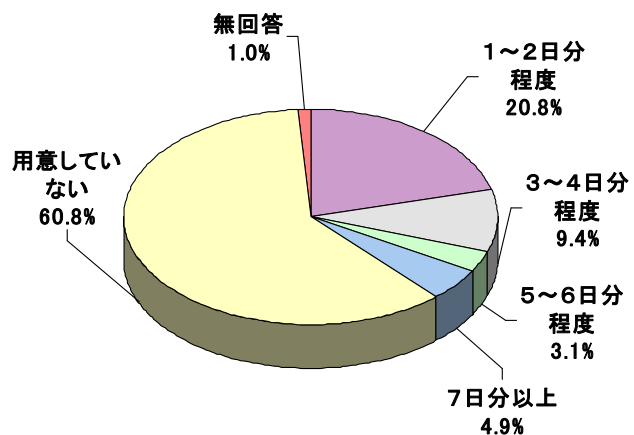
### 3. 日ごろの備え についてです。

Q ご家庭では、非常持ち出し用の食料を含めて、何日分の食料がありますか？



食料の備蓄について 1 日以上用意している方は 57.4%。  
「用意していない」方は約 4 割でした。

Q ご家庭では、災害時用に何日分の飲料水を備蓄していますか？

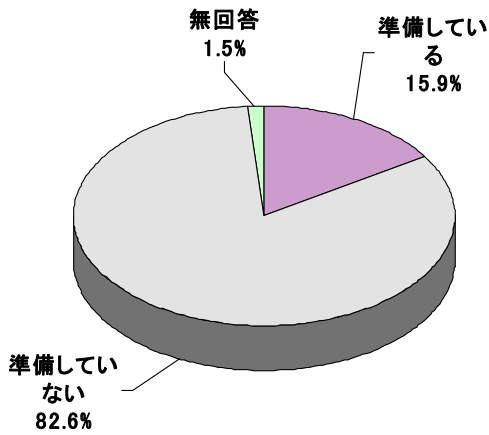


最低でも3日間の  
備蓄が必要だよ。



飲料水の備蓄について 1 日以上用意している方は 38.2%。  
「用意していない」方は約 6 割でした。

Q ご家庭では、救急医薬品や懐中電灯などを入れた非常持ち出し袋を準備していますか？



非常持ち出し袋について「準備している」方は15.9%でした。

また、「定期的に点検している」方は8.7%でした。

災害に備えて  
非常持ち出し袋  
を準備、点検し  
ましょう。



# 非常持ち出し品 チェックリスト

せっかく備えた防災グッズ、いつでも持ち出せるようにチェックしておきましょう！  
ただし、避難に支障が出る重さにならないように十分注意して下さい。

重さの目安 男性15kg 女性10kg

## 食料品等

- 飲料水
- ナイフ
- 食料
- 缶切り
- ( 乾パン)
- ( 缶詰)
- ( レトルト食品)

## 日用品

- 軍手
- 衣類・下着
- 雨具
- 歯ブラシ
- 毛布
- 生理用品
- 寝袋
- 靴

## 安全対策

- ヘルメット
- ローソク
- 携帯ラジオ
- 常備薬
- 防災ずきん
- 懐中電灯
- 救急セット

## 貴重品

- 現金(小銭)
- 印鑑
- 預金通帳
- 保険証
- 重要書類の番号を記したもの

## その他防災グッズ

- 笛 …………… 自分の存在を周囲に知らせることができます。
- ポリタンク …… 避難所生活等で給水を受ける際に、大量に水を運ぶことができます。
- L型金具 …… 地震の際、家具の転倒を防ぐために、しっかりと固定をしましょう。